

平成16年4月7日

各位

会社名 株式会社日本触媒
代表者名 代表取締役社長 柳田 浩
(コード番号 4114 東証・大証 各第1部)
問い合わせ先 総務部長 町田 治樹
(TEL 06-6223-9111)

固定資産の減損に係る会計基準の早期適用および 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成15年11月18日の中間決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 平成16年3月期連結業績予想数値の修正(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	167,000	13,500	15,000	8,500
今回修正予想(B)	169,000	14,400	16,000	7,800
増減額(B-A)	2,000	900	1,000	700
増減率	1.2%	6.7%	6.7%	8.2%
前期(平成15年3月期)実績(C)	163,514	12,757	10,971	5,516
対前期増減額(B-C)	5,485	1,642	5,028	2,283
対前期増減率	3.4%	12.9%	45.8%	41.4%

2. 平成16年3月期単独業績予想数値の修正(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	130,000	11,000	13,500	7,800
今回修正予想(B)	132,000	11,400	13,900	5,600
増減額(B-A)	2,000	400	400	2,200
増減率	1.5%	3.6%	3.0%	28.2%
前期(平成15年3月期)実績(C)	126,612	10,212	10,879	3,094
対前期増減額(B-C)	5,387	1,187	3,020	2,505
対前期増減率	4.3%	11.6%	27.8%	81.0%

3. 業績予想修正の理由(連結・単独)

売上高はアクリル酸及びアクリル酸エステルの国際市況の上昇やアクリル酸エステルの需要増加、エチレングリコールの国際市況の上昇と販売数量増加、さらに高吸水性樹脂の販売好調などにより、増収の見込みです。

営業利益、経常利益とも、上記製品等の数量効果、価格修正などにより、増益の見込みです。

特別損益では、「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用し、当社が大分県に保有する工場用地を中心に減損損失(連結約37億円、単独約35億円)を計上する予定にしております。

<業績等の予想に関する注意事項>

上記の予想数値は現時点で得られた情報に基づいて判断した予想であり、実際の業績等は当該予想と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。

以上